

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 25 No 3

284号

平成29年 3月 6日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

患者さんの想いと信頼

院長

先月2月20日は、クリニックの開院記念日でした。当院は1993年「お母さんの不安・心配の解消」を理念に掲げ、様々な取り組みを行ってきました。そんな理念の証明となる、他院受診してもよくなりクリニックに助けを求めて受診した母親からのメール（一部省略）を紹介します。

「こんにちは 今回の一連の流れを説明します。

日曜日の朝起きたら喉が痛くて、暫くして熱を計ったら38度6分!! インフルかもしれないと思い熱が出て8時間経過しないと検査ができないと思ったので娘の帰宅を待って病院は夕方行こうと思いましたが、その1時間後にはもう39度5分!! ベッドから動けずいました。

夕方やっと帰ってきた娘に日曜日に診察している某医療機関へ行きました。日曜日という事もあり2時間車の中で待たされやっと診察!! インフルエンザと溶連菌の検査をされました。診察室まで歩くのもしんどい私を支えてくれる優しい看護師さんは誰も居ませんでした…。先生に「インフルエンザは陰性、溶連菌が出てくるね。抗生剤を出すので飲んで下さい!」と言われたので「頭がガンガンしてて、喉も唾も飲めないんですけど…」と言うと「頑張っって少しずつでも水分取れないから…」と、水分取れるなら最初から言わないですけどと思いながら診察室を後にしました。

私は病院の待合室で会計と処方せん待ち! 看護師が近寄り「娘さんどしたんですか?」と尋ねるので下の娘を迎えに行ってることを伝えました。その間に処方せんでも取ってきてもらえるのかと思いきや「あっそうですか!!」の一言で終了!!

とりあえずすぐに処方してもらった薬を飲みました。2時間後熱を計ったら37度8分まで下がってました。それでも頭はガンガンし、喉も相変わらず…。2時間後にはまた39度6分!! あまりの辛さに涙が出ました(笑)

夜中ずっと魘され続け月曜日の朝! 何処かで点滴してもらいたいと考え近くの某医療機関Bへ行く事に。友人に事情を説明してもらい点滴をしてもらいたい旨を伝えた所、溶連菌と診断されたのであれば点滴は出

来ないとの事でした。もうその時点で起き上がることも出来ずに横になっていた私を相当具合悪そうだねと一旦奥の診察室へ…何が辛いかと聞かれたので頭と喉とだけ答えるのがやっと! 点滴を1本受け、血液検査の炎症の数値が10.5ある相当な数値ですと言われました。なので暫く毎日点滴に通ってくださいと言われました。冷静に考えこの具合の悪さで毎日点滴に通うのは無理だと思い入院させてもらえないですかと尋ねましたが嫌な顔をされ通ってくださいとの返答でした。自宅に着き一旦37度7分位に下がりましたがそれも束の間また39度8分!!

その繰り返しで寒さと暑さに苦しめられ頭と喉も変わらぬまま…この日の夜中も魘されっぱなしでした。

火曜日の朝6時あまりの具合の悪さに熱を計ったところ40度超え!! 今回2度目の泣きが入りましたね(笑) 半ベそ状態で母にも連絡(笑)

慌てて昨日行った某医療機関Bへ連絡してもらい事情を説明。点滴を2本の間に明日から連れて来れる人が居ないので入院のお話をもう1度してみましたがいままでこの状態ではないのご自分で運転してこれないですか?と逆に尋ねられる始末!!

そんな中私の母から連絡! かわむら先生が観てくれるからすぐ行きなさい! すぐ点滴抜いてもらってかわむら先生の所に行きなさいと半分怒声の様な声で…(得体の知れない某医療機関Bよりも18年孫達を観てくれる信頼の出来る先生にという母の思い)

私もかわむら先生観てくれるってと言う言葉で何故か安心感を覚えこの点滴が終わったらかわむら先生がなんとかしてくれるという気持ちになったのを覚えています。2本の点滴終了後すぐにかわむら先生の所へ向かい入院先を紹介してもらいすぐに某総合病院へ…

適切な処置で点滴治療をして頂きその日のうちに喉の痛みも熱も半減!! 水曜日、木曜日と点滴を受け食事出来るようになり木曜日にはかわむら先生も来ていただき尚更元気になりました。本日金曜日、無事退院できました。

かわむら先生へなんか上手く言えないんですけど本当ありがとうございます。なんで真っ先にかわむら先生の所へ行かなかったのかと後悔してます。某医療機関の看護師達の対応を見ていてかわむら先生筆頭に婦長の中米さんをはじめ陽子さんや事務の方みんなの優しさが改めて感じました。私のかかりつけのお医者さんがかわむらこどもクリニックで良かったと実感させられた出来事でした。(ちょっと今ウルウルきてます)

病室を訪問した時もウルウルでした。患者さんからの個別メールを受け付け、入院先に訪れる、これも皆さんの当院への信頼の想いが伝わってくるからこそです。むしろ、こちらからありがとうと伝えたいのです。

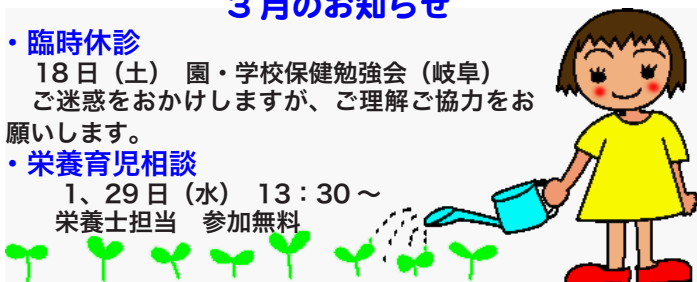
3月のお知らせ

・臨時休診

18日(土) 園・学校保健勉強会(岐阜)
ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

・栄養育児相談

1、29日(水) 13:30~
栄養士担当 参加無料



『がんばろう! 熊本 がんばろう! 日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

先月は12通のメールをいただきました。医療相談やプライバシーに関わるものが多かったので、まずは宮城野区の小○さんからのインフルエンザに関する疑問です。実名でもよかったのですが、学校側に知られるとまずいので、あえて匿名にしました。



「先生、この度は大変お世話になりました。小○勇○の母です。最近では体力も付いたのが、以前のように体調を崩すこともなくなりクリニックにうかがう事も少なくなっていました。でも、何かあると川村先生なら何て言うかな、どうするかな、と根底にあるのは常にクリニックでの対処方。母として育てて頂きました。さて、今回メールをしたのは、インフルエンザの検査についてです。先日のごこと、発熱しています、クラスで4人目です、との連絡がありました。向かえに行くと病院で検査をして結果をお知らせ下さい、と言うのです。病院が閉まるギリギリに行ってもまだ陽性反応は出ないだろうな、というタイミング。でも、行かなきゃいけないこの雰囲気…。案の定、クリニックでは一晩様子を見て検査が必要であれば明日になってから、との事でした。検査結果を待っているであろう先生に、その旨伝えるとがっかりしたようなため息をつかれてしまいました。なぜすぐに検査、投薬をしてくれる病院を受診しないの、という事なのでしょう。でも、目の前の子どもの実体は？周囲の環境は？検査、検査、で全て片付くの？。私たち親は、子どもの苦痛を取り除いて欲しくてクリニックに行きます。検査は、必要であればしてもらい、そうでなければ取って頼む事はしません。でも検査が必要なのは集団生活の中にいるから、という事なのですよ…。でもこうやって考えれば考えるほど、なぜか釈然としない…。これから先、まだ何度もこの検査の壁にぶち当たるであろう母より、かかりつけの先生へ信頼を込めて。」

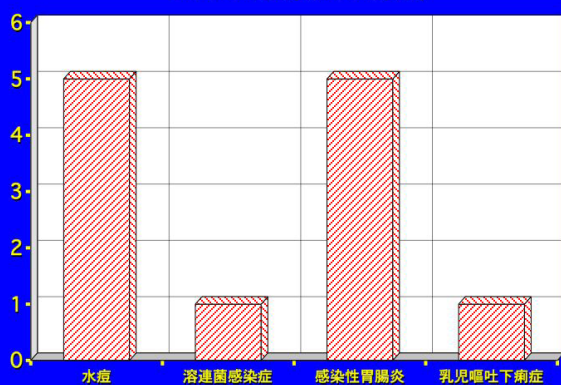
この件に関しては先月号にも書いたので、もう一度読んでください。発熱後時間が経ってなければ検査が陽性にならないということは常識です。そんなことも知らない教員は非常識です。熱が出てすぐに診断しなければならない理由はどこになるのでしょうか。当人ならともかく、第三者が「検査してきなさい」ということではないのです。先日も医師会学校保健部会で話題になり、せめて「診断してもらってきなさい」と教育委員会へ申し入れることになりました。そして返事は次のように書きました。「まずは誰のための検査なのかです。笑い話のようですが、10人欠席で5人インフルエンザ、5人カゼという馬鹿げた結果が出てしまいます。これは全て検査に頼りすぎるという結果です。学校でインフルエンザが流行ったら、教職員は週に一度検査をしないと行かないくらいです。誰のための検査なのか、当人のためなのか、学校のためなのか。インフルエンザが軽く済めば、それでいいはずですが。でも基本的体質として、責任を持ちたくないという意識があるのでしょうか。ところが学級閉鎖が続くと、今度は授業時間が取れないなどと訳のわからないことを言うのです。」

おなじみ秋田の浅野さんから、お母さんの言葉を借りると「まぬけな」相談です。「川村先生、スタッフの皆様、ご無沙汰しております。浅野花みち、花怜母です。年始のご挨拶状いただき、お気遣いさしてしまいましたが、すごくうれしかったです！ありがとうございました！子供達は元気です。花怜が先月溶連菌にかかりましたが、尿検査も無事に終わりました。さて、今日は私のまぬけな相談です。B型肝炎予防接種、花みちのみ二回目の接種を忘れ、初回から2カ月たってしまいました。すっかり2人とも二回目接種がおわったつもりでしたが、今朝気づき、ショックで先生～と泣きつきたいです((>_<))。初回から2カ月もたてば、何か効果に変わりあるのでしょうか。3回目の時期も花みちは通常通りでよいか心配です。花みちのみ二回目の都合が悪くて別の日に、と思ったような気がしますが、過ぎたこと…。いまっている病院にも確認しようと思っていますが、先生の言葉が、私、一番安心します。お忙しい中、恐縮ですが、何か悪影響ないか、今からでも大丈夫かを教えてください。」

院長の返事は次の通りです。「メールありがとう。花みち君も花怜ちゃんも元気で何よりです。さて予防接種の件です。B型肝炎ワクチンの定期接種では、1回目と2回目の間隔は27日以上、3回目は1回目から139日以上になっています。重要なことは間隔よりも回数です。もう受けたかもしれませんが、2回目は早めに接種し、3回目は予定通りの接種で構いません。ということで、遅くなりましたが、二人に、よろしく伝えてください。」

さらにお礼のメールです。「先生にご相談してから、数日後に、不安でしたが、花みち二回目接種をしてきました。「重要なことは間隔よりも回数」、よかったです！安心しました！モヤモヤしていました。花みちは、川村先生の注射は痛くないけど、他の先生は痛い、と予防接種をいつも嫌がります。3回目、嫌がられますが、しっかり忘れずに接種します(。>ω<)。(ご相談しながらも、迷って迷って、…体調よいうちにうけたほうがよいか、と接種、してしまいました、すみません…)余談ですが、花怜がインフルエンザA型で、先週から学校を休んでいます。花みちはうつらずに過ごせています。先生からメールだよ、と子供達に話しました。2人ともにっこり！元気でのお薬、ありがとうございました！！花怜は、明日から登校できるので、先生と間隔的でもコミュニケーションとれてよかったなあ、と思っていました。流行りの病気がたくさんある時期かと思ひます、先生、スタッフの皆様、どうぞお元気でお過ごしください。ご多忙の中、本当にありがとうございました。」遠くへ行ってもかかりつけは、かかりつけの典型です。いつでも遠慮なくどうぞ、スタッフ一同待っていますよ。

2月の感染症の集計



グラフでは特別な病気が流行していないように見えます。発熱、咳がひどい感染症として、アデノ、ヒューマンメタニューモウイルスを検出しています。先月のインフルエンザの患者数は89人でした。インフルエンザ流行状況は、Facebookで毎週提供しています。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は、570人を越えるお母さんが登録。下のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。



MailNews

Facebook

最新情報はFBを見てください。

Mail News が届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。

編集後記

今月号は手抜きで、患者さんのメールで埋め尽くされています。これは嬉しいことで、かわむらこどもクリニックならではのことで、どこにそんな病院があるのでしょうか。それも「先生がなんとかしてくれ」「先生～と泣きつきたいです」という言葉を添えてもらって。他の病院では苦情メールなら埋め尽くせるけども、当院は感謝メールです(笑)



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！